

ベルメディカルケア 株式会社

所在地: 静岡市 創業: 2011年 資本金: 1,000万円 従業員数: 128人

平均年齢 39.8歳 業種: 医療機械器具の販売、介護福祉用品のレンタル・販売



◆医療、介護の専門知識がなくても入社後の教育で、お得意先・仕入先・社内から信頼される人材を育成し、鈴与グループでユースエール初認定。

・業界を一步先に行く取組姿勢を大切に、人材育成を実施。鈴与グループ企業では初めてのユースエール認定を取得。

医療、介護需要に対応できる人材の育成・確保に苦慮していた

- ✓ 高齢化の進行に伴い、医療、介護分野は今後の需要が見込まれ、医療機器販売、福祉用具レンタルも伸びが期待された。
- ✓ 一方で、診療報酬の抑制傾向や介護保険制度改正により経営環境は厳しくなる中、一定の利益を確保していくために、全て（お得意先、仕入先、社員）に信頼される会社づくりを目指してきた。
- ✓ 社員の成長を促し、社員一人ひとりがプロフェッショナルとしての誇りを持てるような職場環境整備が最重要経営課題。

取組前
(きっかけ)

社員一人ひとりのスキルアップが図られるとともに、計画的な人材の確保につながった

- ✓ 全社員が提供するサービスの質を高めようとする意識やモラルが醸成され、より専門性を高めることにつながった。
- ✓ 相互協力体制が強化され組織力アップにつながった。
- ✓ 2年連続で新卒者が確保できた。
(30年度3人、29年度3人、28年度2人)
- ✓ 平成30年10月ユースエール認定取得。鈴与グループ企業として初めての認定取得。

取組後(効果)

取組内容や仕組み

人材育成に力を入れるとともに、魅力ある職場づくりへの取組

- ✓ 設立から7年しか経っていないが、お客様のニーズをしっかりと把握し、的確な商品を提供するため2、3年前に能力開発体系を整備し、毎年ブラッシュアップしている。
- ✓ 職能制度にプラスして賃金テーブル等も全て公開し、公正な評価に基づき処遇を決定している。社員のライフステージに応じた将来設計が立てられようになっている。
- ✓ 静岡労働局の事例集を参考に、仕事の見える化プロジェクトを立ち上げ、業務マニュアルをオープンにし、担当者が不在でも代替可能な体制づくりを目指している。

時間外労働削減の取組

- ✓ 4～5年前より所定労働時間内で仕事を終えるよう意識改革に着手。勤怠管理者である営業所長に対する時間管理の教育を徹底した。
- ✓ 社員への還元策として、時間外手当を削減した分はボーナスで上乗せする措置を講ずることとした。